

# 子育て世代に聞きました

## ～言われて・されてうれしかったこと～

夫の母が「つわりで辛いんだから、アンタが家事をやりなさい」と夫に言ってくれた。

美容院に行ったり、友達と会うときに、子どもを気持ちよく預かってくれた。

結婚記念日に「子どもを預かってあげるから、夫婦で食事をしておいで」と送り出してくれた。

食事のとき、「子どもを見ているから、温かいうちに食べて」と言ってくれた。

予定日が過ぎても陣痛が来なかったとき、「人それぞれだから」と言ってもらえた。

子どもの1歳の誕生日に夫の母が「毎日大変ね」と、私にもプレゼントをくれた。

私の気が付いていない子どものいいところをみつけて、教えてくれた。

「いい名前をつけたね」と言われて、不安がふっとんだ。

「毎日、よく頑張っているね」と、私をほめてくれた。

近くの人が、子どもの名前を覚えていて、会うと呼びかけてくれた。

「これ、食べさせていい？」と聞いてくれるので、親として尊重されている気がする。



## ～言われて・されてイヤだったこと～

妻の母が何でもやってしまい、出番がなかった。

「つわりは気分の問題だから」と言われた。

「五体満足で丈夫な子であれば、男でも女でもいい」と言われたが、もし障がいのある子だったら、どうしたらいいのか。

「離乳食を始めたのなら、乳酸飲料くらいはいいでしょ」と勝手に飲ませられた。

せっかく考えた名前前に、字画をあれこれ言われた。

親戚の同じ月齢の子と、いつも比較される。

子どもの口にチューをする。

子どもに、絶対に着せたくないような服ばかり買って来る。

子どもに「ママは怒るから怖いな」と話しかける。

アレルギーがあるので、「保育園で給食はどうするの。大人になったら困るのに」と、不安になるようなことばかり言われる。

何かにつけて、「今の母親は楽でいい。私たちの頃は大変だった」と言われる。

素直に「孫に会いたいから」と言わないで、色々な口実を作って突然やってくる。

風邪をひいたら、「薄着だから」「人ごみに連れて行ったから」と親のせいにして責められた。

お風呂に入れてもらったら、自分のおっぱいを吸わせていた。

「1歳から保育所に預けるなんて、かわいそう」と非難された。

「一人っ子ではかわいそう」といつも言われる。

父親として育児相談したら、「育児はママに任せてあげればいいよ」と言われた。